

# 菅野かおり

東洋医学治療院 かおり&やすらぎ 院長 ● KAORI KANNO

早稲田医療専門学校卒業 P.07、P.08



東洋医学治療院の道を志したきっかけは？

最初から東洋医学に興味があったわけではありません。短大卒業後、百貨店に就職。O型血液の仕事は面白く、バイヤーの仕事に興味を持ちました。入社3年でバイヤーになったものの人事移動で別の部署へ。この頃から資格で生きていくことに興味を持ち始めました。

その中で興味を持てる資格として鍼灸師に興味を持ちました。もともと人の肩こりを探るのが得意で、友だちが肩こりを鍼灸院で治療しているのを見て、なんて神秘的なんだかなと思いました。知り合った鍼灸師の方たちが早稲田から来ました。

田園実業専門学校の卒業生だったこともあり、資格取得のためこの学校を選びました。

学校生活はどうでしたか？

夜間部だったので、日中は私のように仕事をしながら資格取得を目指す学生が多く、年輪も幅広くかったです。勉強も多かったです。卒業は東洋医学だけでなく現代医学や中国医学、臨床美容なども幅広く学ぶことができました。

今の仕事内容は？

現在は東洋医学治療院を開業しています。鍼灸治療とアロマセラピーの2本柱で治療を行なっています。もともと女性を対象にしたかったのですが、女性人気のアロマを勉強しようとお教室に通いアドバイザー、インストラクターの資格を取得しました。当院では問診から始めます。患者さんの話や症状をよく聞き、視診と触診を行ない、その上で鍼灸治療が有効かどうか鑑別します。単なる肩こりを知っているだけでも重要な疾患かも



しませんが、そういった意味でも現代医学の知識は必要です。治療は個室でマンツーマンで行ない、各々に合わせたアドバイスを行います。アロマコースは女性に人気があります。鍼灸とアロマの併用コースもあり、リラクゼーションの雰囲気を取りたいのか、その日の状況

況や気分によって選べます。リピーターが多いのは嬉しいですね。患者さんの数だけ症例のパターンもあり、毎日勉強です。学会や講演会などに積極的に参加して、常に新しい情報を収集しています。何かひとつでも患者さんの気持ちに応え、形として表れるように敬意を持って治療をしています。

取材・文/則竹知子  
撮影/小森由美子

鍼灸師という仕事

鍼灸師の仕事は、患者さんの症状を聞き、その原因を探り、適切な治療法を提案することです。また、患者さんの生活習慣や食生活についてもアドバイスを行います。鍼灸治療は、体の機能を回復させるための治療法です。鍼灸師は、患者さんの健康を第一に考え、丁寧な治療を行います。



患者さんひとりひとりが満足し、  
気軽に立ち寄れるような治療院にしたい